

令和3年度(令和2年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立西公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 会計年度職員 4名 図書館員 3名					
対象エリア		面積	11.0km ²	人口	15千人		
施設	開館年度	令和2年度(旧施設は昭和48年度)		構造	RC一部鉄骨造2階建		
	延床面積	991.04m ²		敷地面積	2,644.79m ² (複合全体)		
	室名	■集会室A ■集会室B ■集会室C ■集会室D ■多目的ホール					
【単位:千円】		30年度 決算額	31年度 決算額	2年度 決算額	3年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,533	1,996	2,198	3,170		
	前年度比	15.1%	-21.2%	10.1%	44.2%		
	参加者負担金	73	74	24	64		
	前年度比	1.4%	1.4%	-67.6%	166.7%		
	軽印刷その他雑入	212	155	110	241		
	前年度比	-22.3%	-26.9%	-29.0%	119.1%		
	計	2,818	2,225	2,332	3,475		
支出	活動費(0101)	129	167	196	197		
	維持管理費(0102)	5,322	5,070	5,186	7,260		
	事務費 (0103)	人件費	9,229	9,681	9,726	10,451	
		その他	454	438	359	1,576	
	計	15,134	15,356	15,467	19,484		
	前年度比	7.7%	1.5%	0.7%	26.0%		
	営繕工事費(0200)	0	0	0	0		
指標名		30年度 実績値	31年度 実績値	2年度 実績値	3年度 目標値	備考	
利用 状況	利用者数	51,987	48,543	20,069	24,083		
	利用件数	3,687	3,296	2,224	2,669		
	利用日率	84.2%	78.1%	61.5%	74.6%		
	コマ稼働率	36.6%	37.0%	30.5%	34.7%		
事業	事業日数	129	131	74	106		
	参加者数	6,501	6,742	692	963		
図書 室	利用者数	3,550	3,115	4,021	6,240		
連絡所	住民票等取扱件数	—	—	—	—		
その他	納税取扱件数	0	0	0	0		
令和2年度方針		令和2年度西公民館運営方針に基づいて、地域住民から愛され、親しまれる公民館を目指すとともに、まちづくり・生涯学習の拠点としての公民館活動の充実を図る。 また、新たな施設の円滑な運営に努めるとともに、地域の団体や関係機関との連携・強化を図る。					
前年度改善事項		公民館の新築移転に伴い、木の温もりのある開放的な空間のホールを活用して、利用団体の活動や公民館主催事業に関する様々な展示を行うなど、ロビーワークを重視した取組により、今まで以上に多くの地域住民が新たに集える場所となった。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			<p>講座参加者を中心に実施したアンケートや公民館運営協議会委員の意見を踏まえて計画した30事業のうち新型コロナウイルスの影響等により、10事業が中止、8事業が開催回数が減ったが、一定の制限の中で自主事業も創意工夫しながら実施することができた。令和2年度は公民館運営協議会を年2回開催したほか、適宜利用団体と話し合う機会を設けた。</p> <p>公民館職員や公民館運営協議会委員の研修機会については、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため確保できなかったが、関係資料を提供して情報共有を図るとともに、職員の自己研鑽を促した。</p> <p>自主事業の周知や館の運営に当たっては、ホームページの充実を図るとともに、広報はだの及びまほろば秦野通信への掲載や、地域の小学校を通して子供向け事業のチラシを配布するなどして、情報発信に努めた。</p>
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	5			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			<p>自治会やまちづくり委員会の構成団体をはじめ、公民館利用団体等と連携を密にして、地域の拠点としての公民館づくりに努めた。</p> <p>令和2年度の西公民館利用登録団体数は169団体だが、西公民館を主な活動拠点として利用している団体数は減少傾向にあるため、公民館自主事業のサークル化や高齢化したサークルの活動をサポートするなどして、利用団体の増加に努めた。</p> <p>また、自主事業については、婦人会や青少年指導員等の団体と連携して、異世代交流を図る事業、伝承事業、介護予防事業など、地域の特徴を生かした事業を実施することができた。</p> <p>今後も公民館利用団体が増加するよう、新たな自主事業を企画するとともに、ホームページによる情報発信を充実していきたい。</p>
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	5			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			<p>令和2年9月に西公民館が地域防災機能を兼ね備えた西中学校体育館との複合化施設として新たに開館したことで、建物の老朽化やバリアフリー等の課題の解消が図れた。新しい西公民館がこれまで以上に「地域から愛され、親しまれる施設」となることを目指して、職員全員が明るく親切丁寧な窓口対応を心掛けた。</p> <p>また、図書室については、新刊本を増やし、見やすい、わかりやすい図書の配架に心がけるとともに、本の魅力や本の情報を積極的に発信して、読書環境の醸成を図ったことで、新規利用者を含め約3倍の利用者増となった。</p>
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができていますか	4			
	図書室は機能しているか	5			
	施設・設備は整備されているか	5			
	評価	4	4	4	
評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	<p>新型コロナウイルスの影響による公民館活動の制限はあったものの、自主事業については、地域団体、ボランティア、学校等の協力を得て、創意工夫しながら20事業、延べ74日開催できた。今後もこれまでの成果を踏まえ、誰もが安全・安心に公民館を利用できるよう、各種団体と連携を図りながら生涯学習活動の拠点として公民館運営に努めていきたい。</p>			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	<p>念願であった施設・設備の更新が叶ったが、さらにその魅力を引き出す職員の取組が随所で見え、親しみの持てる場となっている。市内で初の複合施設として、また、コミュニティ・スクールの拠点の一つとして、その機能を十分に生かした活動を、より一層期待する。今後は、市の計画においてSDGsのゴールが併記されているので、公民館で展開する事業においてもこれを意識し、住民への周知にも留意されたい。</p>			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	<p>コロナ禍で公民館活動が制限される中、地元の特化したホテル観賞、街角探検隊等、事業がスムーズに展開できた。</p> <p>さらに、事業の周知について、ホームページや市広報の活用、地域への情報発信に努力したことは評価したい。</p> <p>また、ロビーの花の展示、季節に応じた装飾品の展示もすばらしく、建物内特に図書室内の木ぬくもりは、良いものである。</p> <p>今後は、市内初の複合施設として、他の公民館とは異なる、新たな取組や地域活動の拠点として期待したい。</p>			

令和3年度(2年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立南公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 会計年度任用職員 4名 図書館員 3名					
対象エリア		面積	6.0km ²	人口	33千人		
施設	開館年度	昭和45年度		構造	鉄筋コンクリート造2階建		
	延床面積	994.26m ²		敷地面積	1,476.45m ²		
	室名	■調理室 ■和室 ■学習室 ■集会室 ■視聴覚室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		30年度 決算額	元年度 決算額	2年度 決算額	3年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,260	1,889	1,839	2,651		
	前年度比	19.0%	-16.4%	-2.6%	44.2%		
	参加者負担金	24	8	13	63		
	前年度比	33.3%	-66.7%	62.5%	384.6%		
	軽印刷その他雑入	264	244	152	278		
	前年度比	6.0%	-7.6%	-37.7%	82.9%		
	計	2,548	2,141	2,004	2,992		
支出	活動費(0101)	245	241	138	196		
	維持管理費(0102)	5,963	5,493	5,912	6,828		
	事務費 (0103)	人件費	8,980	9,380	13,718	10,447	
		その他	540	445	354	523	
	計	15,728	15,559	20,122	17,994		
	前年度比	3.5%	-1.1%	29.3%	-10.6%		
	営繕工事費(0200)	10,516	0	0	0		
利用状況等	指標名		30年度 実績値	元年度 実績値	2年度 実績値	3年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	49,462	45,789	22,742	35,000	
		利用件数	3,512	3,233	2,108	2,800	
		利用率	80.5%	74.5%	53.8%	65.0%	
		コマ稼働率	34.2%	33.9%	24.5%	28.0%	
	事業	事業日数	175	166	35	173	
		参加者数	6,395	6,114	505	4,500	
	図書 室	利用者数	6,273	5,964	5,432	6,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	—	—	—	—	
	その他	納税取扱件数	9	0	0	0	
令和2年度方針		「明るく笑顔あふれる公民館」を目指し、地域で活動する団体と連携を深めながら事業展開を図るとともに、サークル活動の活性化に向け、サークル支援を進める。					
前年度改善事項		新型コロナウイルス感染症対策として、透明のフィルムを用いた衝立を独自に作成することにより、自主事業参加者の安全・安心の確保に努めた。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			<p>公民館運営協議会や日常の窓口での利用者とのやり取り等を通して、広く意見を吸収するとともに、公民館活動に取り入れることができた。特に公民館運営協議会では、活発に協議・検討、意見交換、情報交換を行い、より良い公民館運営につながった。</p> <p>職員の研修機会は少なかったが、運営上の懸案事項について職員間でよく話し合い、対応方法について検討することができた。公民館での自主事業については他館にも協力を依頼してポスターなどを掲示するとともに、広報はだの以外にも公民館報やホームページに掲載し、地域に発信することができた。</p>
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	5			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			<p>新型コロナウイルス感染症対策の中、地域の委員会や協議会と十分な連携をとることができなかつた。また、開講した講座等は32事業にとどまったが、それぞれの講座には講師や共催者として地域住民や関係団体の参加を得ることができ、講座参加者との交流を深めることができた。</p> <p>関係機関との連携として、近隣小学校の2年生が「まち探検」の一環として公民館を訪問し、施設見学の見学申し込みがあったので交流を図った。それをきっかけに来館者が増加したと思われる。</p> <p>公民館活動については、館報、ホームページ等により情報提供を行った。ジャンル別の講座案内も判りやすいと好評である。また、新規にサークルを立ち上げたいという声や既存サークルへの加入問い合わせがあり、学習相談に応じた。</p>
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	5			
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	5			
	地域の学校や関係機関等と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
評価	4	4	4		
施設の利用について	施設の利用方法に利用者は満足しているか	3			<p>「明るく笑顔あふれる公民館」を目指し、日ごろから挨拶・笑顔・親切・丁寧な対応に努めた。開館から50年が過ぎ、施設の老朽化が進む中、換気扇からの異音や照明設備の不具合等、改善すべき課題には、迅速に対応した。</p> <p>エレベーターが無い点や駐車台数が少ない点など解決が困難な課題がある。引き続き、改善に向け取り組みたい。</p> <p>図書室の取り組みとして「料理」や「自由研究季節」などテーマに合わせたおすすめ本の展示や、読書相談への積極的な対応を行ったところ、利用者からも好評であった。</p>
	利用者への対応は適切か	5			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	3			
	図書室は機能しているか	5			
	施設・設備は整備されているか	3			
評価	4	4	4		
<p>評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)</p>					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	<p>新型コロナウイルス感染症対策で、公民館活動が制限される中、利用者が安全・安心に講座に参加できるよう、自作の透明シートの作成や運営方法の工夫などを行った。昨年に比べ利用者は減少したが、参加者からは満足の声が多く聞かれた。今後も生涯学習の活動拠点として、地域の活性化に寄与していきたい。</p>			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	<p>新型コロナウイルス感染症により、多くの自主事業が中止を余儀なくされる中で、内容変更や安全と安心に十分配慮するなど、職員の努力で実施した事業もあり、評価するところである。自主事業の柱である伝承行事は、講師の発掘や若年層が楽しめる内容に工夫し、参加しやすいものにする必要がある。また、高齢化がますます進行していくので、サークルの運営支援や講座の開設のサポートにも積極的に取り組んでいただきたい。</p>			
内部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	<p>子どもから大人まで楽しめる活動を展開している。さらに、南地区の特性、名所を生かした取組、あるいは、新しい住民が増えている中で、地域に古くからある伝統行事の伝承に力を入れての活動は、評価できる。</p> <p>こうした伝統行事を実施するに当たっては、地域の方々の協力を受けるなど、地域と密着した活動として評価できる。</p> <p>今後は、昔からの住民と新しく増えた住民との交流がより一層図れるような取組について、期待したい。</p>			

令和3年度(2年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立北公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 会計年度任用職員 4名 図書員 3名					
対象エリア		面積	20.0km ²	人口	13千人		
施設	開館年度	平成12年度		構造	RC2階建		
	延床面積	1,493.25m ²		敷地面積	2,712.32m ²		
	室名	■調理室 ■創作活動室 ■和室 ■音楽室 ■集会室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		30年度 決算額	31年度 決算額	2年度 決算額	3年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,688	2,331	1,889	2,856		
	前年度比	16.0%	-13.3%	-19.0%	51.2%		
	参加者負担金	91	58	43	64		
	前年度比	26.4%	-36.7%	-25.3%	48.8%		
	軽印刷その他雑入	333	340	446	234		
	前年度比	22.9%	2.1%	31.2%	-47.5%		
	計	3,112	2,729	2,378	3,154		
支出	活動費(0101)	784	777	719	760		
	維持管理費(0102)	8,205	6,892	6,711	9,450		
	事務費 (0103)	人件費	9,381	9,331	9,531	10,450	
		その他	373	487	318	479	
	計	18,743	17,487	17,279	21,139		
	前年度比	-3.1%	-6.7%	-1.2%	22.3%		
	営繕工事費(0200)	37,300	4,432	3,730	6,615	消防設備等	
利用状況等	指標名		30年度 実績値	31年度 実績値	2年度 実績値	3年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	43,464	35,794	15,677	15,000	
		利用件数	2,863	2,638	1,540	1,500	
		利用日率	80.5%	73.2%	48.1%	45.0%	
		コマ稼働率	34.7%	32.1%	18.4%	18.0%	
	事業	事業日数	114	98	36	44	
		参加者数	6,338	6,039	3,044	3,000	
	図書 室	利用者数	3,702	3,556	3,168	3,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	4,397	3,932	2,368	2,200	
	その他	納税取扱件数	12	12	19	12	
令和2年度方針		生涯学習活動、まちづくりの拠点として、地域・学校・利用者団体等と連携し、事業展開を図る。 親切、丁寧をモットーに市民の方に接するとともに、安全で快適な施設の運営に努める。					
前年度改善事項		平成12年3月に建て替えてから、22年以上が経過し、徐々に老朽化が進んでいる。そのような中、集会室等照明灯修繕や階段の滑り止め交換などを行い、施設管理に努めた。現在、浄化槽や消防設備に修繕の必要が生じており、来年度に向けた改修予算を確保し、長寿命化を目指している。また、コロナ禍の中、衛生管理に配慮した。					

		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			公民館運営協議会の開催で、意見・要望を聴取し、講座受講者にアンケート調査を実施して住民のニーズの把握に努めた。その結果を自主事業の見直しや公民館運営に生かした。委員には県公連が開催する研修会の情報を提供した。 公民館情報の発信について、講座案内等を広報はだの・館内掲示板・ホームページ・館報に掲載した。自主事業の開催、館の運営については、市ホームページや自治会回覧、事業のチラシ等の配付や掲示等により情報を発信するとともに、利用者団体、来館者、講座アンケート等の意見を踏まえ、事業の見直しや利用方法の改善を行った。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の運営全般が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			日ごろの来館者等との交流により地域課題の情報収集に努めた。生活・現代的課題に関する講座では子ども、シニアを対象としたもの、観光ボランティアと連携した北のハイキングを実施した。 座学講座に代わるコロナ禍における取り組みとして、各種展示事業を開催した。利用団体の日頃の学習成果を公民館事業に生かす方法として、講座の講師を依頼して、地域の課題への対応として、公民館事業及び地域や学校との連携による子供の見守り活動等を通して、子供を取り巻く課題や地域課題の把握に努め、地域活動へ施設利用の積極的協力の促進、まちづくり活動の拠点としての役割を担った。 公民館の在り方の観点からは、関係団体等の活動拠点や地域住民への情報提供の場として機能させるとともに、生きがいつくり、交流の場の確保、環境保護等をテーマとした。また情報化社会を見据え、パソコン講座・相談などの事業を展開した。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
評価	4	4	4		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			多くの団体に利用していただいている。開館して21年経過しているが、利用団体の施設使用方法が良く、職員の環境美化の取り組みやシルバー人材センター職員の清掃等に対して来館者からは、きれいな公民館と評価されている。来館者に対しては、挨拶を徹底し、気持ちよく利用できる環境に配慮するとともに、窓口では、親切・丁寧・公平な対応に心がけている。来館者への積極的な声掛けなど、親しみやすい雰囲気づくりを推進し、施設の利活用の向上を推進した。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境ができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	4			
	評価	4	4	4	
評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	コロナ禍で、さまざまな制約や利用制限があり、十分な施設運営及び事業展開ができなかった。その中で少しでも満足していただけるよう、施設管理・運営・接客に配慮した。新規の事業もいくつか検討してきたが、飲食ができないなど、開催にこぎ着けないなどの状況であった。今後、平常の状況に早く戻ることを念頭に置いて、事業の充実を模索している。また、公共的団体の活動拠点や地域住民への情報提供の場として機能させるとともに、安全で快適な環境を継続させるため、施設・設備の適切な維持・管理を行った。			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	コロナ禍の中において、利用者数は減少しているものの、職員が努力し、自主事業においては企画展示などを新たに実施し、地域のニーズを把握した事業展開を行っている。施設管理においては、避難所としての備えを拡充したほか、展示物を良く整理し、住民に見やすく設置し、明るい雰囲気を保った。また良く清掃されている。			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	本市の特性として、幼稚園や小中学校の近くに公民館が設置されており、北地区においても、公民館の教育的意義が生かされていると思う。さらに、地元住民による積極的な協力を惜しまない風土があり、地元に着目した活動ができていることは評価したい。 また、事業としては、北公民館の名物である里山カフェは残念ながら中止となったが、実施した事業は、コロナ禍で定員を少なくして実施する中で、新たな取組を実施するなど評価する。 今後についても、地元との協働で、子どもから大人まで楽しめる活動を実施されたい。			

令和3年度(2年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立大根公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 会計年度任用職員 4名 図書館員 3名					
対象エリア		面積	6km ²	人口	26千人		
施設	開館年度	昭和54年度		構造	RC一部鉄骨造2階建		
	延床面積	1,136.14m ²		敷地面積	1,587.03m ²		
	室名	■多目的ホール ■集会室 ■学習室 ■和室 ■調理室					
【単位:千円】		30年度 決算額	31年度 決算額	2年度 決算額	3年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	3,403	3,313	2,095	3,020		
	前年度比	18.8%	-2.6%	-36.8%	44.2%		
	参加者負担金	173	167	74	63		
	前年度比	2.4%	-3.5%	-55.7%	-14.9%		
	軽印刷その他雑入	212	220	133	276		
	前年度比	-14.5%	3.8%	-39.5%	107.5%		
	計	3,788	3,700	2,302	3,359		
支出	活動費(0101)	179	189	114	196		
	維持管理費(0102)	7,636	5,953	6,211	7,921		
	事務費 (0103)	人件費	11,216	11,485	11,333	10,448	
		その他	454	369	316	476	
	計	19,485	17,996	17,974	19,041		
	前年度比	-4.7%	-7.6%	-0.1%	5.9%		
	営繕工事費(0200)	0	4,551	0	0		
利用状況等	指標名		30年度 実績値	31年度 実績値	2年度 実績値	3年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	41,304	37,037	18,401	20,000	
		利用件数	2,898	2,751	1,804	2,000	
		利用日率	84.7%	76.3%	57.5%	70.0%	
		コマ稼働率	38.4%	38.0%	26.1%	30.0%	
	事業	事業日数	79	74	56	75	
		参加者数	3,083	3,395	1,101	2,000	
	図書 室	利用者数	9,092	8,715	8,958	8,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	4,980	4,234	4,289	—	
その他	納税取扱件数	14	9	8	—		
令和2年度方針		令和2年度の大根公民館の運営方針として、新型コロナウイルスの影響が見通せない状況の中で、感染防止に最大限の配慮をし、利用団体及び講座等参加者の協力を得ながら、安全に安心して使用し、参加してもらえる施設管理及び事業運営に努める。					
前年度改善事項		新型コロナウイルス感染防止のため、「公民館まつり」や「おおね音楽祭」といった大きな事業は実施できなかったが、コロナ対策(事前申込み定員制、ステージ上にパーティション設置、ステージと客席及び客席間の距離確保等)を講じたうえで、公民館まつり等に参加を予定していた団体による代替事業(音楽会及び作品展)を開催した。また、毎日2回、公民館職員により館内の共用箇所の除菌作業を実施し、利用者の安全確保に努めた。さらに調理室前の通路に手作りの可動式下足箱を設置し、懸案の調理室の土足禁止を実現した。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			講座等実施時には参加者を対象としたアンケート調査を実施し、今後の事業を検討するうえでの参考とした。 コロナ対策を講じたうえで公民館運営協議会を3回開催し、それぞれの立場から貴重な意見をいただいた。また、第2回協議会時に書面開催となった「公民館長・公民館運営審議会委員等研修会」の研修資料を参考配布し、情報提供に努めた。 毎日始業前に朝礼を実施し、職員間の情報交換、共有化とスケジュール確認など、円滑な業務運営を図った。また、公民館職員3名が市消防本部主催の救急救命講習を受講し、緊急時の対応の習得に努めた。 公民館活動のPRとしては市ホームページによるタイムリーな情報提供に努めるとともに、自主事業等の案内を掲載した館報を発行し、幼稚園、小中学校等の関係機関をはじめ、大根地区自治会への組回覧及び東海大学でも配架・掲示してもらい、公民館活動の周知に努めた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	3			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			公民館運営協議会の中で公民館運営等に関する意見や現代的な課題への指摘・提言をいただいた。 「公民館まつり」と「おおね音楽祭」は新型コロナウイルス感染防止のため、やむなく中止としたが、その方向性を判断する際には、昨年度までの参加者へのアンケート調査を実施し、参加者の率直な意向をしっかりと把握した。また、アンケートで参加の意向を表明された団体を中心に代替事業として音楽会等を開催した(再掲)。音楽祭の代替事業のPRのために、タウンニュース社に記事を掲載してもらった結果、申込みの電話が鳴りやまない状況となり、コロナ禍でこうしたイベントを渴望する人の多さが改めて顕著に現れた。 前年度に引き続き夏休み期間中の子どもの居場所づくりと学習支援を目的に「学習室無料開放」を実施した。参加者が少なかった前年度の反省点を考慮し、学校との連携を図り、事前周知に努めるとともに、利用日を明示しするなどの対応を試みたところ、昨年よりも約7倍、延47名の小中学生の利用があった。 新型コロナの関係から東海大学生の活動が制限されているため、これまで実施してきた講座への協力等は依頼できなかったが、大学のサークルをはじめ、高校の部活動の場として公民館を利用してもらった。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
評価	4	4	4		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			利用方法は概ね満足されていると思われるが、ハード面でエレベーター設置を望む声は大きい。 利用者に対して、笑顔で明るく接することを念頭に、相談者の立場になって親切丁寧な対応に努めた。また、公民館には多様な役割(コロナ対策としての除菌水の配布やプレミアム商品券の応募受付など)が求められる中で、案内は極力分かりやすく文字化して表示することで利用者の利便を図った。 図書室では、職員が工夫を凝らし、本への興味関心を引き起こすようなポップや特設コーナーを設けるなど、利用者へ積極的に働きかけた。また、月1回の「本の読み聞かせ」や「夏の本読みチャンピオン」といった事業を実施するとともに、大震災から10年が経過する機を捉え、3月に実施した「防災展」では、図書室に「防災に関する本のコーナー」を設けて事業の充実を図った。 経年劣化による設備の故障も発生したが、市関係部署に相談し、修繕を円滑に実施することで利用者への影響を最小限に止めた。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができていますか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	4			
評価	4	4	4		
評価:5大変よくなった(十二分) 4よくなった(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	国の緊急事態宣言の発出に伴い、事業を中止せざるを得ない状況もあったが、6月に貸館業務を、また7月に自主事業を再開してからは、何よりも利用者及び参加者の安全に配慮した施設管理、事業運営を行ってきた。特に自主事業については、様々な制限がある中で、どうしたら安全に実施できるかという視点で取り組んできた。その結果、参加人数は少ないながらも、音楽会等の事業を実施することができ、参加者からも好評を得ることができた。コロナの行方が見通せない状況の中で、これからもウィズコロナをベースとした施設管理、事業運営を継続していく。			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむなく中止となった「おおね公民館まつり」及び「おおね音楽祭」について、創意工夫し、コロナ対策を施したうえで、それぞれの代替事業を安全に安心して参加できる環境で実施したことは十分評価できる。また、地道な取組だが、コロナ対策として、毎日、公民館職員が共用箇所の除菌作業を継続実施していることも評価できる。コロナの先行きが見えない中で、引き続き感染防止に最大の配慮をし、利用者及び事業参加者の理解を得ながら、安全、安心の施設管理及び事業運営に努めてほしい。なお、エレベーター設置の要望は引き続き強くあるが、老朽化に伴う抜本的な建て替えを含めた検討を加速されるとともに、利用者の利便向上のために、プロジェクター等の備品の充実にも努められたい。			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	コロナ禍でも積極的かつ運営に色々な工夫がされており、中止とした公民館まつりの代替事業、PR誌「みずき」の発行、ウェブサイトでの歳時記サイトを見ても楽しめる内容であるなど、評価できる。コロナ禍で大学生の利用が減少するなど、残念な点があったが、昔からの住民や新しい住民、子ども、大学生などを巻き込んだ異世代間の交流が図れるなど多様な活動ができるよう期待する。			

令和3年度(令和2年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立東公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 会計年度任用職員 4名 図書館員 3名					
対象エリア		面積	29km ²	人口	16千人		
施設	開館年度	昭和56年度		構造	RC造2階建		
	延床面積	1,063.86m ²		敷地面積	2,424.60m ²		
	室名	■集会室A ■集会室B ■和室 ■調理室 ■多目的ホール■小和室					
【単位:千円】		30年度 決算額	31年度 決算額	2年度 決算額	3年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	1,713	1,151	1,158	1,670		
	前年度比	8.4%	-13.8%	6.0%	44.2%		
	参加者負担金	183	103	35	64		
	前年度比	10.9%	-43.7%	-66.0%	82.9%		
	軽印刷その他雑入	312	277	170	348		
	前年度比	-13.1%	-11.2%	-38.6%	104.7%		
	計	2,171	1,531	105	2,082		
支出	活動費(0101)	271	285	181	201		
	維持管理費(0102)	7,551	5,817	5,419	7,502		
	事務費 (0103)	人件費	9,078	9,544	9,438	10,450	
		その他	597	355	386	523	
	計	17,499	16,001	15,253	18,676		
	前年度比	6.9%	-8.6%	-4.7%	22.4%		
	営繕工事費(0200)	0	24,483	0	0		
指標名		30年度 実績値	31年度 実績値	2年度 実績値	3年度 目標値	備考	
利用 状況	利用者数	35,581	28,162	14,050	37,000	・新型コロナウイルスの影響により4・5月は休館 ・開館後も、利用時間の短縮並びに部屋の収容人数の2分の1制限 ・飲食を伴う利用の禁止	
	利用件数	2,158	1,902	1,296	2,250		
	利用率	67.1%	56.5%	41.2%	66.0%		
	コマ稼働率	24.3%	22.7%	15.9%	26.0%		
事業	事業日数	99	82	41	100	新型コロナウイルスのため公民館まつりをはじめとした事業の休止または縮小	
	参加者数	6,278	5,393	683	5,500		
図書室	利用者数	4,182	3,971	3,281	—	・新型コロナウイルスの影響により4・5月は休館室	
連絡所	住民票等取扱件数	3,967	3,846	4,193	—		
その他	納税取扱件数	4	0	0	—		
令和2年度方針		地域の諸団体や地域人材との連携を強化し、地域の拠点としての公民館活動の充実を図る。また、市が進める環境管理システムにおける環境目標に沿った事業を積極的に展開する。					
前年度改善事項		公民館運営方針を見直し、よりいっそう地域のまちづくりの拠点としての公民館運営を心掛けた。また、地域の子どもたちの成長に寄与できるよう、事業を拡充するとともに、登下校時に、適切な子どもの見守りを行った。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			<p>地域の諸団体の活動を支援は新型コロナウイルスの感染拡大によりほぼ中止となった。地域人材との連携による事業は可能な限り実施した。利用者説明会は中止としたが、講座終了後のアンケートや公民館運営協議会委員の意見を踏まえ自主事業を実施した。</p> <p>公民館職員の研修機会として、人事課主催の接遇研修、消防本部主催の救命救急講習への参加、環境管理に関する内部研修を行った。</p> <p>情報発信として、広報はだの以外に、公民館報やホームページの充実を図り、タウン誌への情報提供を積極的に行い、掲載していただくよう努めた。</p>
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	3			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	3	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			<p>地域の諸団体からの情報収集に努めた。事業の企画に当たっては、地域人材を講師として活用し、成果発揮の場を提供した。市民の学習成果発揮の場の提供は、公民館にとって重要な取り組みであり、今後も一層拡大していきたい。</p> <p>公民館まつりをはじめ地域連携による事業の多くが実施できなかったが、子どもたちの体験活動など、感染防止に留意し可能な限り事業を実施した。公民館は、生涯学習施設としてだけでなく、行政の出先機関として幅広い問合せ、相談があり、温かく、適切な対応を心掛けた。</p>
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	3			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
評価	4	4	4		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			<p>職員全体として、来館者へ声掛け、交流に努めるほか、小中学生の登下校時の緊急対応に配慮した。</p> <p>図書室については、新型コロナウイルス感染拡大により休室や利用制限が多く、思ったような運営ができなかったのが残念である。</p>
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	3			
	施設・設備は整備されているか	4			
	評価	4	4	4	
<p>評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)</p>					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	<p>公民館の利用状況としては、新型コロナウイルス感染拡大による利用制限があったため、利用件数、人数、主催事業ともに前年度に比べ、大きく減少したが、主催事業については、公民館まつりの代替事業として利用団体の作品展示を長期間行うなど、工夫をしながら可能な限り実施することができた。令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防に最大限の配慮をしながら、利用者、講師の意向を十分踏まえて公民館運営を行う。</p>			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	<p>新型コロナウイルスの感染拡大による制限がある中、できる範囲で工夫に努め、自主事業を実施できたことは評価できる。特に野外活動は多くの市民が参加の機会を楽しみにしており、積極的な実施を継続してほしい。また、小中学生の登下校時の見守り、緊急対応の場として大きな役割を果たしていることは特筆に値する。駐車場の整備、臨時駐車場の確保により、利用しやすい環境が提供されている。</p>			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	<p>小学生や未就学児が図書室に来て楽しむ空間が準備されている。ただし、コロナ禍のため、滞在時間に制限があり残念であった。</p> <p>事業は地元に着した活動がいろいろあり、さらに東地区特有の健康ウォーキング、市外に足を延ばしての自然観察など自然の中で活動する事業が多く、評価できる。また、中止とした公民館まつりの代替事業として、利用者の発表の場が確保されたことは評価できる。</p> <p>今後も異世代間が交流できる取組について期待したい。</p>			

令和3年度(令和2年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立鶴巻公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 会計年度任用職員 4名 図書員 3名					
対象エリア		面積	2.4km ²	人口	15.3千人		
施設	開館年度	平成2年度		構造	鉄筋コンクリート地上2階建地下1階		
	延床面積	1,369.46m ²		敷地面積	1,936.09m ²		
	室名	■調理室 ■創作活動室 ■音楽室 ■和室 ■コミュニティ室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		30年度 決算額	31年度 決算額	2年度 決算額	3年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	3,606	2,909	2,403	3,464		
	前年度比	24.7%	-19.3%	-33.4%	44.2%		
	参加者負担金	17	57	27	63		
	前年度比	-72.6%	235.3%	58.8%	133.3%		
	軽印刷その他雑入	241	292	163	229		
	前年度比	28.2%	21.2%	-32.4%	40.5%		
	計	3,864	3,258	2,593	3,756		
支出	活動費(0101)	125	199	69	199		
	維持管理費(0102)	6,911	8,118	6,037	8,118		
	事務費 (0103)	人件費	11,279	10,560	9,854	10,349	
		その他	370	363	313	574	
	計	18,685	19,240	16,273	19,240		
	前年度比	-2.2%	6.5%	-12.9%	18.2%		
	営繕工事費(0200)	0	0	0	0		
利用状況等	指標名		30年度 実績値	31年度 実績値	2年度 実績値	3年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	44,194	37,226	20,657	25,000	
		利用件数	3,403	3,103	2,081	3,000	
		利用日率	74.5%	69.3%	51.5%	60.0%	
		コマ稼働率	30.1%	29.2%	20.9%	30.0%	
	事業	事業日数	32	51	28	40	
		参加者数	3,791	3,755	902	2,000	
	図書室	利用者数	10,692	9,231	7,636	9,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	4,135	3,221	3,003	-	
	その他	納税取扱件数	38	22	3	-	
令和2年度方針		地域コミュニティ活動の拠点として、地域組織との連携、協働の強化に努め、地域住民の自主的な活動を支援する。また、地域特性を踏まえた災害対策に関する学習機会を充実する。					
前年度改善事項		防災に関して、自治会への情報提供とともに学習の機会を増やすことで、地域特性を踏まえた対策に取り組んだ。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	2			<p>講座等終了後のアンケート結果や公民館運営協議会での意見を参考に、新たな事業や実施方法等について検討した。また、市民企画提案型事業を積極的に取り入れるとともに、館内の児童室と共催し、コロナ禍でのこどもを対象とした事業を実施した。</p> <p>自主事業の周知については、広報はだのへの掲載はもちろん、チラシやポスター等の掲示、ホームページを充実させることなどにより、努めた。</p> <p>近隣の小・中学生の学校生活での活動を積極的に受入れ、また、地域課題に対する講座の開催については、自治会長との連携を図るなど、地域に根差した公民館運営に努めた。</p>
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	3			
	評価	3	3	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	5			<p>自治会やこどもを育む会などの学校との連携を密にすることで、地域の課題の把握に努めている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、休館や一部利用を制限するなど、年間を通じた事業の展開はできなかったが、関係団体・ボランティア等の企画・協力により新規の講座等を実施することができた。</p> <p>さらに秦野市防災アドバイザーの協力のもと、防災等についての講習会を前年度よりも増やし、地域特性を踏まえた防災の意識向上を図った。</p> <p>また、夏休み期間中のこども達の学習機会の確保を目的に学習室の無料開放を継続して実施するとともに、小学校との連携のもと、サマースクールを開催した。</p>
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	3			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
評価	4	4	4		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			<p>丁寧な窓口対応に心がけ、館全体で「声掛け」の励行など気軽に利用できる雰囲気づくりに努めている。</p> <p>図書室は、新着やおすすめの図書を目につきやすい位置に配置したり、幼児向け図書を入口近くに配置するなど、利用者の利便性向上に努めている。</p> <p>施設面では、老朽化による雨漏り等が発生することもあるが、施設利用に影響することがないよう、普段から、施設管理・点検に努めている。</p>
	利用者への対応は適切か	3			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	2			
	図書室は機能しているか	3			
	施設・設備は整備されているか	3			
評価	3	3	4		
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	3	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、活動に制限が加えられ、自主事業も中止の判断をせざるを得ないものがあり、本来の公民館活動が十分にはできなかった。一方では、地域まちづくりの拠点として、地域の住民や団体、学校と連携し、地域課題の共有や学習機会の提供に努めることができた。</p> <p>引き続き、学校を含めた地域と積極的に連携を図り、地域に根ざした活動、気軽に利用できる環境を整えていきたい。</p>			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	3	<p>新型コロナウイルスの影響により、事業が縮小される中でも、感染症への適切な対応のもと、子どもたちの交流の場づくりや高齢者の健康に関する事業をはじめ、新たな事業にも積極的に取り組むなど、地域の交流の拠点として、親しまれる公民館活動を推進している。</p> <p>また、夏休み期間中の学習を応援するため、学習室としての施設の開放に加え、鶴巻小学校サマースクールを実施するなど、小中学校との連携も活発に行われている。</p> <p>さらに、「防災・減災サロン」の回数を増やすなど、地域課題の解決のため、災害対策にも引き続き力を入れている。これまで以上に地域に愛され、共に歩む公民館となるよう、支援していきたい。</p>			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	<p>コロナ禍で少人数で事業を実施しているが、地元の自治会、子ども会など地域に密接した関わりのある団体と協力して実施したことは評価できる。さらに、鶴巻は市内でも大雨による災害が起こる地域であることから、防災サロンのように、地域住民に必要な情報提供活動がされていることは評価できる。さらに、子どもたちの活動が積極的で、地元の史跡巡りをはじめ、地元の歴史を知る野外講座の実施など評価できる。</p> <p>また、図書室は明るく広々としており、多種にわたる本が見やすく整えられており、利用者も多い。</p>			

令和3年度(令和2年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立上公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 会計年度任用職員 4名 図書館員 3名					
対象エリア		面積	12.4km ²	人口	2,153人		
施設	開館年度	平成5年度		構造	鉄筋コンクリート造り2階建て		
	延床面積	859.54m ²		敷地面積	1,176.16m ²		
	室名	■調理室 ■創作活動室 ■和室 ■多目的ホール ■会議室					
【単位:千円】		30年度 決算額	31年度 決算額	2年度 決算額	3年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	1,148	766	738	1,064		
	前年度比	10.9%	-33.3%	-3.7%	44.2%		
	参加者負担金	28	27	20	64		
	前年度比	-33.3%	-3.6%	-25.9%	220.0%		
	軽印刷その他雑入	75	91	69	69		
	前年度比	-21.9%	21.3%	-24.2%	0.0%		
	計	1,251	884	827	1,197		
支出	活動費(0101)	143	153	139	197		
	維持管理費(0102)	6,900	4,886	5,536	7,681		
	事務費 (0103)	人件費	8,337	9,334	9,666	10,451	
		その他	1,398	358	311	477	
	計	16,778	14,731	15,652	18,806		
	前年度比	-1.9%	-12.2%	6.3%	20.2%		
	営繕工事費(0200)	0	0	0	6,615	令和3年度はトイレ改修工事を予定	
利用状況等	指標名		30年度 実績値	31年度 実績値	2年度 実績値	3年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	15,032	12,310	5,604	7,000	
		利用件数	1,172	978	588	700	
		利用率	42.6%	37.6%	24.0%	35.0%	
		コマ稼働率	13.9%	12.3%	7.8%	10.0%	
	事業	事業日数	82	104	42	64	
		参加者数	3,467	2,823	608	1,500	
	図書 室	利用者数	1,397	1,303	1,287	1,400	
	連絡所	住民票等取扱件数	1,102	870	812	-	
	その他	納税取扱件数	10	19	27	-	
令和2年度方針		感染症の状況を注視し、利用者の安全安心を第一に施設の管理運営に努める。また引き続き、地域のまちづくり・生涯学習の拠点施設であるとの認識のもと、地域・幼小中学校・利用者団体との良好な信頼関係の構築に努め、連携した各種事業に積極的に取り組む。(かみ放課後子ども教室、公民館まつり、ひな祭り、納涼祭、観劇会など)					
前年度改善事項		講師等の高齢化から自主事業の継続が困難な状況となるものがあったが、新たな講師を発掘し継続することができた(ミニ門松作り教室)。かみ放課後子ども教室については、児童の安全確保のため、ボランティアの拡充に努めるとともに、関係者との意見交換を行い、保護者の事業参画をはじめ、事業への理解を深める方策を検討した。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	3			運営協議会や利用者懇談会等の意見を踏まえ、利用者の視点に立った運営に努めているが、令和2年度は、利用者懇談会について、例年開催している時期が緊急事態宣言期間中であつたため、開催できなかった。感染症対策として検温、消毒はもとより、ホール利用の際のスリッパ等への履替えをしないこととした結果、利用者から高評価を得た。広報活動については、館報、ホームページ、広報とともにタウンニュースへの掲載を積極的に働きかけたことにより、地域の特色ある展示事業などへの来館者が増加した。研修については、感染症により書面開催となった。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	3	3	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			まちづくり関係については、まちづくり委員会への出席や総合計画地域まちづくり計画を通して概ね把握されている。納涼祭、公民館まつり、ひな祭りなどは、自治会や関係団体、幼稚園小学校が一丸となって取り組んでいる事業であるが新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされた。かみ放課後子ども教室についても一定期間は中止としたが、児童の参加意欲もあり小学校と連携して感染症対策を徹底し、できる限り開催したが保護者の参加については見送ることとした。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	3			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
評価	3	3	4		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			感染症対策を含めた施設利用のルールについては利用者に浸透しており、苦情等もなく理解を得られていると考えます。引き続き良好な信頼関係を保ちつつ、住民が親しみやすい環境づくりに努めていきたい。また、図書室については、一定期間休室したが貸出本数に大きな低下は見られなかった。利用者とは気軽にコミュニケーションを図りつつ交流の場としていきたい。設備等に対しても特段の苦情はないが、予算確保に努め適宜更新を図りたい。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	3			
	評価	4	4	4	
評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	3	種々の活動を通して、地域、利用団体との良好な信頼関係が築けているものとする。令和3年度から地域コーディネーターを配置とするなど、公民館のあり方にも変化が見られる。その変化に柔軟に対応できるように努めていきたい。端午の節句、七夕飾り、ひな人形展など、上公民館ならではの特色ある事業について、多くが中止となった。かみ放課後子ども教室についても、一定期間中止となったが、実施できた活動については参加児童も多く楽しむことができたと思われる。上公民館ならではの事業については好評であり、地域、学校等の協力を得ながら、継続した実施に努めていきたい。			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	3	コロナ禍において、かつてない異例の年であつたと考える。公民館まつりをはじめ多くの事業が中止を余儀なくされたことはやむを得ないことであるが、これまでに築き上げてきた地域や関係機関との連携や市民との信頼関係が希薄になることが懸念される。あらゆる機会をとらえ、良好な関係の維持に努め、引き続き、地域の拠点施設として魅力ある公民館運営に努められることを期待する。			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	地元の自治会などの団体の協力のもと、上地区ならではの伝統行事を伝承する事業、子どもの居場所づくりに寄与するかみ放課後子ども教室の実施など、子どもにとって安全安心な拠点となっていることは、評価できる。さらに、生き物の里調査隊、親子卓球教室など子どもと大人が一緒にできる事業が多く、評価できる。 また、伝統行事を伝承する事業は、たびたび市広報やタウンニュースなどでも紹介されており、広く周知がなされている。			

令和3年度(令和2年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立渋沢公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 会計年度任用職員 4名 図書館員 3名					
対象エリア		面積	7.0km ²	人口	18千人		
施設	開館年度	平成7年度		構造	鉄筋コンクリート造地上2階地下1階建		
	延床面積	1,467.15m ²		敷地面積	2,270.70m ²		
	室名	<input checked="" type="checkbox"/> 調理室 <input checked="" type="checkbox"/> 創作活動室 <input checked="" type="checkbox"/> 集会室 <input checked="" type="checkbox"/> 音楽室 <input checked="" type="checkbox"/> 和室 <input type="checkbox"/> 会議室 <input checked="" type="checkbox"/> 集会室 <input type="checkbox"/> 学習室 <input type="checkbox"/> 視聴覚室 <input checked="" type="checkbox"/> 多目的ホール					
【単位:千円】		30年度 決算額	31年度 決算額	2年度 決算額	3年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,672	2,202	1,675	2,416		
	前年度比	33.1%	-17.6%	-23.9%	44.2%		
	参加者負担金	58	54	17	63		
	前年度比	3.6%	-6.9%	-68.5%	270.6%		
	軽印刷その他雑入	322	291	248	221		
	前年度比	17.5%	-9.6%	-14.8%	-10.9%		
	計	3,052	2,547	1,941	2,700		
支出	活動費(0101)	179	155	100	196		
	維持管理費(0102)	7,280	6,351	7,061	8,060		
	事務費 (0103)	人件費	9,084	9,450	9,723	10,449	
		その他	434	372	320	512	
	計	16,977	16,328	17,204	19,217		
	前年度比	5.6%	-3.8%	5.4%	11.7%		
	営繕工事費(0200)	0	0	10,833	0		
利用状況等	指標名		30年度 実績値	31年度 実績値	2年度 実績値	3年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	33,521	27,979	14,590	20,000	
		利用件数	2,509	2,157	1,434	2,000	
		利用日率	68.7%	62.3%	44.7%	50.0%	
		コマ稼働率	21.6%	21.5%	15.0%	17.0%	
	事業	事業日数	149	110	117	130	
		参加者数	5,179	4,766	1,433	4,000	
	図書 室	利用者数	6,030	5,671	5,207	5,600	
	連絡所	住民票等取扱件数	2,462	2,156	2,067	2,300	
	その他	納税取扱件数	13	1	0	1	
令和2年度方針		渋沢公民館の立地条件、住宅地と里地、渋沢丘陵など、地域特性と季節感を持たせるなど、地域と連携し、利用者のニーズを汲んだ事業を行い、子どもから高齢者まで、わくわくして来館し、いきいきできる公民館を目指します。					
前年度改善事項		新型コロナウイルス感染防止のため、休館、利用時間や利用人数の制限を行うとともに、手指消毒、三密回避等の措置を講じて、施設利用や自主事業を実施した。 また、屋上防水、発電機、電気設備及び外部階段手すりの塗装等改修工事を行い、施設の維持管理に努めた。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			<p>公民館運営協議会を年2回開催し、委員の意見を事業運営に反映させるとともに、利用者の意見を直接聞き、地域の特性を生かした事業を展開している。</p> <p>職員は、自主事業、公民館活動等について情報共有を図るとともに自己研さんを図っている。県の公民館研修は書面開催となったことから、文書で研修内容の周知を行った。</p> <p>なお、公民館事業については、広報はだのやホームページを活用し発信するとともに、チラシを作成、市内各館に掲示し事業PRを行っている。</p>
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	3			
	評価	3	3	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			<p>公民館利用団体及び地域団体と連携し、利用ニーズを把握するとともに、課題に取り組み地域の拠点として公民館づくりに努めた。</p> <p>公民館まつりは参加団体にアンケート実施するとともに実行委員会開催も当初より延伸して計画し対応を図ったが、コロナ禍のため中止となった。高齢者の健康維持など共同で事業を行っていた「渋沢ほっとサロン」を、登録団体として位置付けた。</p> <p>なお、中学校運営協議会、子どもを育む協議会等と情報共有を図った。</p> <p>また、夏休みの学習室開放は、事前周知を行ったことから、昨年より多くの参加者があった。</p> <p>利用登録団体数が年明けからのコロナ禍、高齢化等により減少傾向であることから、ホームページ、館内掲示等により更なる啓発を図っていく必要がある。</p>
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	3			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
評価	3	3	4		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			<p>利用者や地域住民等の声に応えられるよう職員全員があいさつ、声掛けを積極的に行っている。展示や掲示物・掲出物を整理し、見やすく明るく親しみやすい雰囲気づくりに取り組んでいる。</p> <p>コロナ禍での施設利用は、公民館遵守事項を事前に周知するとともに、公民館チェックシートにより、感染防止の徹底を図った。図書室では、利用者参加の季節ごとの壁面飾りを実施し、利用環境の向上を図るとともに、「よむよむカード」を配布し、読書活動の推進を図った。</p> <p>なお、施設が老朽化してきており、計画的な改修を行う必要がある。</p>
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができていますか	3			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	3			
	評価	3	3	4	
<p>評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)</p>					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	3	<p>公民館が地域の拠点となり利用者・地域住民と連携し、子どもから高齢者まで、「生き生きできる公民館」となるよう努力したが、登録団体の減少、利用者の高齢化、更に令和元年度末に発生した新型コロナウイルスの感染防止対応のため、主催事業の自粛、休館、利用人数制限、利用時間の短縮、「公民館まつり」の中止等により利用件数・人数が減少した。今後、関係団体との連携協力により、コロナ禍での公民館運営に力を注ぎ、円滑な公民館活動を継続するよう努めていきたい。</p>			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	3	<p>緊急事態宣言等が発出され、不要不急の外出自粛、三密回避等により、生涯学習活動拠点である公民館事業や活動について、施設利用者数等が減少した。人と人が対面して交流する公民館活動は、新型コロナウイルスとは相性が悪く、今後も本来の公民館機能の一部を制限しなければならない状況である。</p> <p>このことから引き続き、新型コロナウイルス感染防止の観点から新たな生活様式を取り入れ、利用者数の管理、換気、消毒を徹底するとともに、「生き生きできる公民館」活動の継続に努めてほしい。</p>			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	<p>地元の名産食材である、八重桜を使ったケーキ作りやみかんを使ったママレード作りなど、地域の特性を生かした、地元に着した取組について評価できる。</p> <p>さらに、コロナ禍でも利用者が安心して利用できる工夫が見られる。</p> <p>また、館内において、きちんと整理された展示の工夫や図書室の利用は子どもから大人まで多くあるように見受けられる。</p>			

令和3年度(令和2年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立本町公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 会計年度任用職員 4名 図書館員 3名					
対象エリア		面積	6.0km ²	人口	20千人		
施設	開館年度	平成8年度		構造	RC造2階建		
	延床面積	1,613.58m ²		敷地面積	1,500.25m ²		
	室名	■調理室 ■和室 ■集会室A ■集会室B ■視聴覚室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		30年度 決算額	31年度 決算額	2年度 決算額	3年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	4,674	3,970	2,588	3,732		
	前年度比	27.8%	-15.1%	-34.8%	44.2%		
	参加者負担金	84	81	38	64		
	前年度比	82.6%	-3.6%	-53.1%	68.4%		
	軽印刷その他雑入	516	431	194	519		
	前年度比	3.6%	-16.5%	-55.0%	167.5%		
	計	5,274	4,482	2,820	4,315		
支出	活動費(0101)	630	448	192	197		
	維持管理費(0102)	9,203	10,093	7,615	8,768		
	事務費 (0103)	人件費	9,260	9,745	9,582	10,450	
		その他	444	440	365	541	
	計	19,537	20,726	17,754	19,956		
	前年度比	5.7%	6.1%	-14.3%	12.4%		
	営繕工事費(0200)	2,165	0	0	0		
利用状況等	指標名		30年度 実績値	31年度 実績値	2年度 実績値	3年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	76,806	70,523	26,658	38,000	
		利用件数	4,917	4,462	2,456	3,700	
		利用率	89.5%	83.1%	57.3%	67.1%	
		コマ稼働率	42.1%	41.1%	23.3%	30.0%	
	事業	事業日数	49	47	37	61	
		参加者数	3,842	3,546	418	1,055	
	図書 室	利用者数	11,927	12,239	11,063	12,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	—	—	—	—	
	その他	納税取扱件数	11	24	15	—	
令和2年度方針		<p>従来実施した事業などの検証・見直しを行うとともに、利用団体等と連携しながら事業の展開を図る。</p> <p>利用者ファーストを念頭に置き、明るく親切的な窓口対応を心掛けるとともに、利用者が使いやすい施設環境の整備に努める。</p> <p>生涯学習やコミュニティ活動の拠点としての公民館運営を推進する。</p>					
前年度改善事項		<p>職員が公民館の運営や利用者への窓口対応について共通認識を持ち、利用者サービスの向上を図るため、月1回、全職員での打ち合わせ会を行うようにした。</p> <p>公民館のホームページの更新に努めるとともに、マスコミ等様々な媒体を活用して事業のPRに努めた。</p> <p>団体等のチラシなどの専用掲示スペース、並びに掲示期間等のルールを定め、より多くの団体等が掲示できるように努めた。</p> <p>事務室の整理整頓を行い、執務環境の向上を図った。</p>					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			来館者や利用者等の声に耳を傾けるとともに、年3回開催した公民館運営協議会における委員からの様々な指摘や提案等を参考に公民館運営を行った。また、公民館運営協議会委員及び公民館職員の研修機会確保については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、県公民館連絡協議会主催の研修会が書面開催となるなど、研修機会の確保が十分であったとは言えなかった。公民館自主事業等については、公民館だよりやホームページ等で募集や開催結果を報告するとともに、年間でまとめた結果報告を館内に掲出するなど様々な媒体を活用して情報発信に努めた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			利用団体、地域住民等からの情報、並びに自治会との連携により、課題の把握に努めている。また、地域住民等の公民館事業への参画については、公民館自主事業の講師として事業運営に携わってもらうなどの工夫をしており、さらに、近隣のこども園、幼稚園及び小学校を訪問し、事業への参加をお願いするなど地域の学校等とも連携を図っている。さらに、年6回発行する公民館だよりは、自治会を通じて地域に配付していただいているが、公民館だよりにより多くの情報を掲載できるようレイアウトを工夫するとともに、毎号掲載内容の見直しを図り、自主事業等の募集や開催結果以外に、ボランティアで公民館に季節の草花を飾ってくださる活動や図書室からのお知らせ等を掲載するなど内容の充実に取り組み、地域住民等への積極的な情報発信に努めた。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	3			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
評価	4	4	4		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			日頃から利用者が多いものの、いつでも気持ちよく利用できるよう窓口対応三か条を定め、利用者ファースト、親切丁寧な対応等に事務室及び図書室の職員全員が努めてきた。来館者に対しても声掛けを心掛け、生の声等を積極的に情報収集するとともに、利用者や地域住民等が気持ちよく施設を利用したり、大型商業施設に近接している立地条件を一層活かすため、正面玄関と大型商業施設側玄関を通り抜ける人にも関心を持ってもらえるように通路となる部分にチラシやポスター、パンフレットなどを工夫して掲示するなど情報発信に努めた。また、図書室利用者に対しては、職員のレファレンス(本の紹介等の援助)に一層取り組み、サービス向上に努めた。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができていますか	4			
	図書室は機能しているか	5			
	施設・設備は整備されているか	4			
評価	4	4	4		
評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	自主事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止または3密を回避する規模での開催となったため、参加者数等目標値を大幅に下回った。公民館運営協議会は、感染対策のもと予定通り3回開催し、委員からの意見や提言等を公民館運営に反映した。また、大型商業施設に隣接した立地条件を生かし、誰もが気軽に訪れ、公民館に関心を持ってもらえるよう、2か所の玄関を繋ぐ南北通路を貴重な情報発信の場と捉え、広報紙等の配置やチラシ等の掲出に積極的に取り組んだ。来館者への対応は、窓口対応三か条を設け、利用者ファーストに努めた。			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	コロナ禍で様々な制約や利用制限がある中、利用状況等の減少は致し方ない。こうした中で職員が創意工夫し、感染拡大防止に向けた安心安全な利用環境の確保や事業の展開に努めている。また、隣接する大型商業施設への通り抜けも含め多くの人が訪れる環境において、利用者ファーストの接客対応や通路を情報発信の場として活用していることは評価できる。引き続き、地域の生涯学習やまちづくりの拠点として魅力ある運営に努めてほしい。			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	本市の中心部にある公民館のため、他の公民館と比較しても、利用率が高い公民館である。さらに市民の利用がしやすいことから、市の関連行事で使用する人が多いと思うが、その中でも地元の小中学校、自治会と連携をし、一体となって取り組んでいることは評価できる。 コロナ禍で利用人数が減少することは仕方ないことであるが、他の公民館にない展示コーナーの活用など、今後も特色のある取組を進めてもらいたい。			

令和3年度(2年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立南が丘公民館					
職員数		8名 (内訳) 再任用職員 1名 会計年度任用職員 4名 図書館員 3名					
対象エリア		面積	3.0km ²	人口	13千人		
施設	開館年度	平成9年度		構造	RC一部鉄骨造地上2階地下1階建		
	延床面積	1,490.84m ²		敷地面積	2,752.63m ²		
	室名	■調理室 ■創作活動 ■音楽室 ■和室 ■集会室 ■セミナー室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		30年度 決算額	31年度 決算額	2年度 決算額	3年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	3,491	3,082	2,543	2,909		
	前年度比	17.8%	-11.7%	-17.5%	14.4%		
	参加者負担金	11	11	7	39		
	前年度比	-8.9%	0.0%	-36.4%	457.1%		
	軽印刷その他雑入	274	265	256	259		
	前年度比	-17.5%	-3.3%	-3.4%	1.2%		
	計	3,776	3,358	2,806	3,207		
支出	活動費(0101)	143	160	160	196		
	維持管理費(0102)	7,379	8,201	6,605	7,589		
	事務費 (0103)	人件費	9,558	9,414	9,841	10,448	
		その他	376	368	317	481	
		計	17,456	18,143	16,923	18,714	
		前年度比	2.5%	3.9%	-6.7%	10.6%	
		営繕工事費(0200)	-	2,222	2,695	-	令和3年度は大規模工事なし
利用状況等	指標名		30年度 実績値	31年度 実績値	2年度 実績値	3年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	50,626	43,351	23,768	40,000	新型コロナウイルスによる利用制限及び公民館まつり中止等の影響
		利用件数	3,829	3,577	2,363	3,500	
		利用日率	76.9%	70.3%	55.0%	70.0%	
		コマ稼働率	29.0%	28.6%	21.4%	30.0%	
	事業	事業日数	76	67	39	60	新型コロナウイルス感染症による事業実施見送りの影響
		参加者数	5,419	1,552	345	1,500	
	図書室	利用者数	9,536	9,384	8,190	9,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	4,002	4,098	4,191	-	
その他	納税取扱件数	5	11	22	-		
令和2年度方針		令和2年度の南が丘公民館運営方針として、地域に開かれた公民館を目指し、誰もがつどい、まなび合う環境の整備に努めること、地域の人びとの生活課題を解決するための、情報提供および学習活動への援助・助言に努めること、各種団体やサークル活動の支援に努めること、ロビーワークを重視した運営の展開に努めること、市内公民館との連携協働の強化に努めること、関係機関や地域の諸団体との連携協働の強化に努めること、最後に施設の適切な維持管理に努めること。					
前年度改善事項		屋上・多目的ホールベランダ等の防水工事を行うとともに、多目的ホール暗幕・カーテンレール交換、公民館中庭への砂利敷き、和室の畳表替え、ケヤキやユリの木、桜の剪定を行った。また、新型コロナウイルス対策のため公民館で除菌水(次亜塩素酸水)を生成し、市民へ配布をするとともに館内の除菌に活用している。					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			<p>利用者説明会での意見及び公民館運営協議会委員の意見を参考に自主事業の見直しを図り、事業の充実に努めた。令和2年度は公民館運営協議会を年2回開催した。その他にも適宜、新型コロナウイルス感染症にともなう施設の利用制限・対策などの情報を委員・利用者へ提供した。</p> <p>また、隣接する南が丘小中学校運営協議会や、南が丘中学校区豊かな心を育む協議会、南地区教育懇話会の構成メンバーとして委員及び館長が会議等に関わることができた。また、公民館自主事業の実施にあたり、広報はだの以外にも、公民館報(3回)やホームページを随時更新するなど周知を図った。</p>
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	3			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			<p>公民館利用団体、南地区きれいな住みよい町づくり運動推進委員会の構成団体、各自治会との連携を密にして、地域の拠点としての公民館づくりに努めた。</p> <p>また、コロナ禍での公民館まつりの開催については、利用団体に開催・参加に関するアンケート調査を実施の上、開催しないことといたしました。</p> <p>毎年、団体の活動内容や会員募集状況が分かる利用団体一覧表を冊子としてまとめ、参加希望者へ配布するとともに、この冊子により学習相談に応じ、公民館が団体と利用希望者との仲介役となっている。</p> <p>今後は、公民館利用団体が増加するよう、情報の収集・提供に努めたい。</p>
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	3			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
評価	4	4	4		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			<p>公民館まつりや音楽祭の開催時など、駐車場の不足などで利用者からの要望があることから、敷地内の駐車スペース(砂利敷き)を整備した。さらに近隣のこども園・小・中学校の駐車場を臨時駐車場として借用するなど対応。今後の修繕計画(外壁防水工・LED照明化等)への取り組みを計画的に進めたい。</p> <p>また、利用者の方に気持ちよく施設を利用していただくために、職員全体(館長・公民館事務員・図書事務員)で、あいさつや明るく丁寧な窓口対応を心掛けている。</p> <p>ロビーの掲示物・掲出物を整理し、見やすく明るい雰囲気づくりに努めた、特に、時期によって求めが多いゴミの分別カレンダーや検診申込書などは、すぐに案内できるように工夫している。</p>
	利用者への対応は適切か	3			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	4			
	評価	4	4	4	
評価:5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	<p>公民館屋上等防水工事を計画的に行うとともに、施設の適切な維持管理のため、敷地内の駐車場の整備(砂利敷き)や樹木の伐採、陶芸窯修繕や暗幕取り換え、和室畳表替え、濡縁撤去などを行うことができた。</p> <p>地域の方々や連携して公民館が地域活動の拠点としての役割を果たせるよう努めたが、さらに努力していきたい。また、貸館業務や連絡所業務、図書室業務など市民と接する場面は多岐にわたるが、親切・丁寧な対応を心掛けるとともに、利用者の利便性を図りたい。</p>			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	<p>駐車場の整備、多目的ホールの暗幕交換、和室畳表替えなど、利用者の要望に応えた施設整備ができており、1階のロビーも展示物やチラシ・ポスターなどが見やすく、工夫され整理・整頓が行き届いている。</p> <p>南が丘元気っ子クラブ子ども会の活動について、公民館での重点事業として、ボランティアスタッフと公民館との協働により継続していただきたい。</p> <p>市民の安心・安全のために公民館の避難所機能(新型コロナウイルス感染症対策など)が毎年充実されている。</p>			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	<p>館内の修繕など整備が進められ、利用者が気持ちよく利用できる場所となっており、評価できる。</p> <p>また、比較的新しい住民が多い地域であるが、元気っ子クラブ子ども会など地域の中で、子どもの見守りや公民館活動に対する地元高校のボランティアの協力など、地域一体となって公民館運営に携わっていることは、評価できる。</p> <p>今後は、地域中心の活動に加えて、公民館独自の事業ができるよう工夫されたい。</p>			

令和3年度(2年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立堀川公民館					
職員数		8名 (内訳) 会計年度任用職員 5名 図書館員 3名					
対象エリア		面積	1.0km ²	人口	6.0千人		
施設	開館年度	平成16年度		構造	RC2階建		
	延床面積	1,496.48m ²		敷地面積	2,430.76m ²		
	室名	■調理室 ■和室 ■集会室 ■音楽室 ■創作活動室 ■多目的ホール					
		30年度 決算額	31年度 決算額	2年度 決算額	3年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	3,961	3,518	2,976	2,916		
	前年度比	+19.0%	-11.2%	-15.4%	-2.0%		
	参加者負担金	69	53	28	63		
	前年度比	+6.2	-23.2%	-47.2%	+125.0%		
	軽印刷その他雑入	337	266	212	265		
	前年度比	-0.9%	-21.1%	-20.3%	+25.0		
計		4,367	3,837	3,224	3,244		
支出	活動費(0101)	221	194	170	170		
	維持管理費(0102)	8,423	7,523	7,115	7,351		
	事務費 (0103)	人件費	9,351	9,517	9,771	14,412	
		その他	462	380	298	477	
	計		18,457	17,614	17,354	22,410	
	前年度比		-1.1%	-4.6%	-11.5%	+29.1%	
営繕工事費(0200)		0	286	0	10,170		
指標名		30年度 実績値	31年度 実績値	2年度 実績値	3年度 目標値	備考	
利用 状況	利用者数	49,847	44,058	24,013	34,000	○令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、4月、5月は休館。また、開館時も利用時間の短縮や利用人数の制限を令和3年度にかけて実施している。	
	利用件数	4,175	3,776	2,754	3,200		
	利用日率	84.5%	78.0%	62.7%	70.0%		
	コマ稼働率	38.1%	37.9%	29.7%	35.0%		
事業	事業日数	125	129	30	52	令和2年度より、展示会は1事業あたり日数を1として集計する。	
	参加者数	5,199	5,039	445	700	令和2年度より、展示会の参加者はカウントせず。	
図書室	利用者数	6,847	6,281	5,401	6,000		
連絡所	住民票等取扱件数	3,770	5,903	3,245	—		
その他	納税取扱件数	11	28	6	—		
令和2年度方針		<p>新型コロナウイルス感染症予防対策に取り組み、来館者が安心し、気持ちよく利用できる公民館を目指す。</p> <p>その上で、生涯学習の拠点として、地域住民のニーズに合わせた、自主事業を積極的に展開するとともに、学習の成果を、より多くの方に発表できる場としての機能を大切に、活動意欲を喚起していきたい。また、堀川小学校のコミュニティスクール推進事業に積極的に取り組みたい。</p>					
前年度改善事項		<p>新型コロナウイルス感染症予防対策に終始した一年であり、これまで取り組んできた自主事業を精査し、誰もが安心して参加できる公民館運営を目指してきた。例えば、ハワイアンキルト作りといった新しい講座や、これまでも親子で楽しめた人形劇など、自粛生活の中で、少しでも潤いのある時間を提供できるよう取り組めた。また、自動ドアの改修など、公民館施設の維持管理に努めることができた。</p>					

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			<p>公民館運営協議会や公民館利用者の意見や要望に率直に耳を傾け、施設の改善や自主事業の展開を図ることができた。また、運営方針を館内に掲示するとともに、ホームページに掲載し、周知を図った。</p> <p>公民館運営協議会委員や職員の研修機会は、新型コロナウイルス感染症対策の中で、大幅に制限されてしまった。しかし、休館期間を職員研修の絶好の機会ととらえ、自主事業の活性化の方向を探ることができた。</p>
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	3			<p>公民館が地域の情報や交流のセンター的な役割を果たすことができるよう、配布物や掲示物の配置に留意し、誰もが気軽に立ち寄りやすいロビーとなるよう心がけてきた。</p> <p>利用団体の代表者の方にコンサートや展示会の運営に参加して頂いたり、講師を務めて頂いたりすることで、自主事業が、利用者のニーズに沿った学びの場や学習成果の発表の場となるよう努めてきた。</p> <p>自主事業の内容としては、親子の触れ合いを深める講座や「ホテル観賞会」「里山めぐりハイキング」など地域の自然に親しみ、環境保全に関わるような講座を意図的に設けた。また、シニア世代の生活をより豊かなものにするよう「シニアのらくらくピアノ」等の講座を開催した。</p>
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	3			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			<p>施設や設備には老朽化が目立つ部分もあるが、利用者からの指摘や要望には可能な限り迅速に対応した。また、定期的な点検を行い、安全快適に利用して頂けるよう努めてきた。</p> <p>窓口では親切丁寧な対応を心掛けるとともに、挨拶を徹底し、誰もが気持ちよく、また気軽に利用できる公民館をめざしてきた。</p> <p>図書室では、誰もが利用しやすい環境作りに努めるとともに、新着本の配架や紹介等を計画的、効果的に行えるよう心がけた。</p>
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができてきているか	3			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	3			
	評価	3	3	4	
<p>評価：5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)</p>					
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員	4	<p>新型コロナウイルス感染症への対応のため、長期の休館期間が必要となり、また感染防止上、中止にせざるを得ない自主事業も多くあり、残念な一年であった。しかし、限られた条件の中で、新規の講座を設けたり、作品展等を通して多くの来館者を得たりすることができた。また、自治会や地域の方々との連携し、開かれた公民館運営を行い、地域コミュニティの中核的な役割を担うことができた。</p>			
内部評価	評価	評価に関する意見			
運営協議会委員	4	<p>コロナ禍で様々な制限のある中、新規の講座を設けるなど、事業計画を工夫したことで、安定した来館者を得られたことは評価できる。施設については、今後も利用者が快適に利用できるよう、環境維持に努めて欲しい。</p>			
外部評価	評価	評価に関する意見			
社会教育委員	4	<p>近隣の四十八瀬川を利用したホテル観賞会など、地域資源を活用した取組や飾り巻きなど、公民館独自の活動を実施するなど、評価できる。さらに、工作、絵画クラブなどの作品を多数展示するなど、利用者の希望を叶える工夫ができたことは、利用者の励みになっていると考えられる。</p> <p>今後についても、地域資源の活用や利用者の励みになるような取組を進めてもらいたい。</p>			